

DENSO Robotics バージョンアップ情報

コントローラ・ソフトウェア機能追加・改良のお知らせ [2019.10]

平素、デンソーロボットをご愛用いただき、誠にありがとうございます。

このたび、RC8 コントローラ・RC8A コントローラ・COBOTTA のバージョンアップに伴い、以下の機能を改良・追加いたします。今後もお客様への一層のサービス向上に取り組んでまいりますので、引き続きご愛用いただきますようお願い申し上げます。

●バージョン

RC8 / RC8A コントローラ / COBOTTA Ver 2.9.0

●項目

【RC8 / RC8A コントローラ / COBOTTA】

	分類	項目
1	機能変更	COBOTTA 衝突検出機能改良
2	機能変更	COBOTTA Vision Edition 内蔵化対応
3	機能追加	プロバイダ追加

●内容 | RC8 / RC8A コントローラ / COBOTTA

項目	概要
COBOTTA 衝突検出機能改良	COBOTTA が自動モード動作中に衝突を検出したとき、COBOTTA の軸を柔らかくした状態で外力に倣いながら停止するオプションを選択できるようになりました。 この機能によって、衝突時の被害の軽減や、物体の挟み込みを予防することが可能になります。
COBOTTA Vision Edition 内蔵化対応	COBOTTA に 3rd パーティソフトウェアをインストールしてお使い頂くことができるようになりました。従来はソフトウェアを動作させる IPC などが必要でしたが、ソフトウェア自体を COBOTTA に内蔵することで、簡単に低価格でご使用頂けます。 その第一弾として、キャノン株式会社製の画像処理ソフト" Vision Editon-C" をインストールし、COBOTTA 内部で起動できるようになりました。" Vision Editon-C" では、フローチャートを使用し、簡単に画像処理やロボット動作プログラムを作成することが可能です。
プロバイダ追加	新規対応プロバイダとして、下記製品に対応しました。 ・キーエンス製 LaserMarker プロバイダ ・メトラー・トレド製 計量モジュール WMF204C プロバイダ ・セイコーエプソン製 ESCPOS プロバイダ